



いいで町

183号

議会だより



上手に刈れたよ（第一小学校5年生）

9月定例議会



携帯・スマホからアクセス！

9月定例会	……………	P 2 ~ 3
令和2年度決算報告	……………	P 4 ~ 5
臨時会・議員の賛否	……………	P 6 ~ 7
特集(特別委員会・新体制)	……………	P 8
一般質問	……………	P 9 ~ 13
決算特別委員会(総務文教・産業厚生)	……………	P 14 ~ 17
総務文教・産業厚生常任委員会	……………	P 18 ~ 19

関する特別委員会を設置

8ページに詳細記載

9月定例会

一般会計補正予算(第6号)

690万円を追加し
総額70億5568万円に

主な歳入

- 凍霜害等緊急対策事業交付金 304万円
- 新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金 390万円
- 県保育料無償化に向けた
段階的負担軽減交付金 245万円
- 公共施設整備基金繰入金 4230万円

主な歳出

- 畜産生産拠点整備事業
(地盤強化工事に係る工事請負費等の追加)
1100万円
- 中学校管理費
(町民スポーツセンター周辺排水対策工事
請負費等の追加) 3130万円
- 新型コロナウイルス感染症経済対策
(住宅等小規模リフォーム支援事業費補助金)
240万円
- ひめさゆり荘施設改修補助金 189万円

概要

令和3年9月定例会は、9月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。初日の一般質問は4名が町政をただしました。3日目の議案審議では承認2件、一般会計補正予算(第5号)を含む各特別会計補正予算11件、飯豊町過疎地域持続的発展計画、町道路線認定について審議し、原案のとおり可決しました。また、請願3件を各常任委員会に付託、令和2年度会計決算認定13件を一括上程し、決算特別委員会に付託しました。

4日目以降、常任委員会、決算特別委員会を開催し、議案を審査しました。最終日に、令和2年度各会計決算13件を認定、追加提案された令和3年度一般会計補正予算(第6号)など2議案を原案通り可決し、人事案2件に同意しました。

また、請願2件を採択し、特別委員会の設置、国への意見書提出など議員発議9件を決め、閉会しました。



「飯豊電池バレー構想」に

飯豊町過疎地域 持続的発展計画 を策定

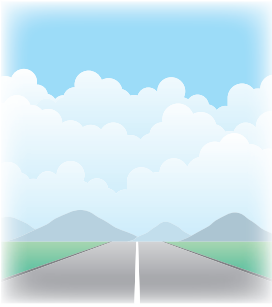
本町における過疎対策を総合的かつ計画的に推進するため策定したものです。

計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間です。

町道路線の認定

主要地方道長井飯豊線の道路改良工事に伴い当該路線の一部が町道に移管されるため認定するものです。

◎路線名 中里向原線



請願

◆請願名

国に対し、「国連で採択された核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

【請願者】

原水爆禁止西置賜協議会
代表 青木 慶一

【紹介議員】

高橋 亨一
舟山 政男

【所管委員会】

総務文教常任委員会

【主な内容】

2017年国連で採択され、今年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」に日本政府は直ちに署名・批准し唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶への責務を果たすよう日本政府に対し意見書提出の請願。

〔審査の経過と結果〕

願意妥当で採択

〔本会議〕

全員賛成により可決

◆請願名

コメの需要調整に関する請願

【請願者】

山形おきたま農業協同組合
代表理事組合長 若林 英毅

【紹介議員】

J A山形おきたま飯豊地区農政対策本部
本部長 遠藤 嘉春

【所管委員会】

産業厚生常任委員会

【主な内容】

コロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施さらには倉庫の新設や

低温倉庫の改修にかかる支援等、出来秋に向けた出口対策を強化・拡充を求める意見書提出の請願。

〔審査の経過と結果〕

願意妥当で採択

〔本会議〕

全員賛成により可決

◆請願名

新型コロナウイルス感染症の取扱いを指定感染症二類相当から五類感染症に引き下げることとを求める意見書提出についての請願

【請願者】

コロナ禍を収束させる山形県民会議
代表 斉藤 美千代

【紹介議員】

後藤 恵一郎

【所管委員会】

産業厚生常任委員会

【審査の経過と結果】

調査、研究が必要のため継続審査。

人事

次の人事案件に全議員賛成で同意しました。

◆教育委員会委員

飯豊町大字椿
前司 恵（再任）

◆人権擁護委員

飯豊町大字椿
井上 慶次（再任）

意見書

採択された請願2件のほか、次の2件も国及び関係省庁に意見書を提出しました。

◆豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する意見書

◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

特別会計決算の概要

令和2年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計を合わせた全13会計の決算は、決算特別委員会において審査の上、全会一致で認定されました。

監査委員において作成された「令和2年度飯豊町一般会計・特別会計決算審査意見書」によると令和2年度末の町債（町の借金）の残高は、134億987万円（前年より8億5,194万円の増）で、町民一人当たり198万円（前年より17万円の増）の借金額となります。

また、一般会計の財源構成比率は、税金などの自主財源が18.8%、国からの地方交付税・国や県からの交付金・補助金及び町債などによる依存財源の割合が81.2%であり、自主財源に乏しい財政基盤の状態にあります。

財政運営にあたり、学校改修などの目的のため積み立てて、必要な時に取り崩して活用するための基金（家計においては預金）の残高は、総額19億4,547万円です。

しかし、全体の約75%以上が公共施設整備事業や地域福祉事業並びに国民健康保険財政調整などの目的基金であり、非常事態などに柔軟に使用できる基金（財政調整基金）は、5年前（平成27年度末）の12億5,131万円と比べ、わずか4億5,712万円となっています。

令和2年度 主な予算執行事業

- 飯豊電池バレー構想 16億1,886万円
- 家畜排せつ物等利用のバイオガス発電事業
プロジェクト 1億6,604万円
- 飯豊中学校大規模改修事業 1億7,400万円
- 除排雪事業（道路除雪・高齢者等支援）
2億9,292万円
- 母子保健、子育て支援医療 4,510万円



過去5年間の財政収支の状況

（単位 万円）

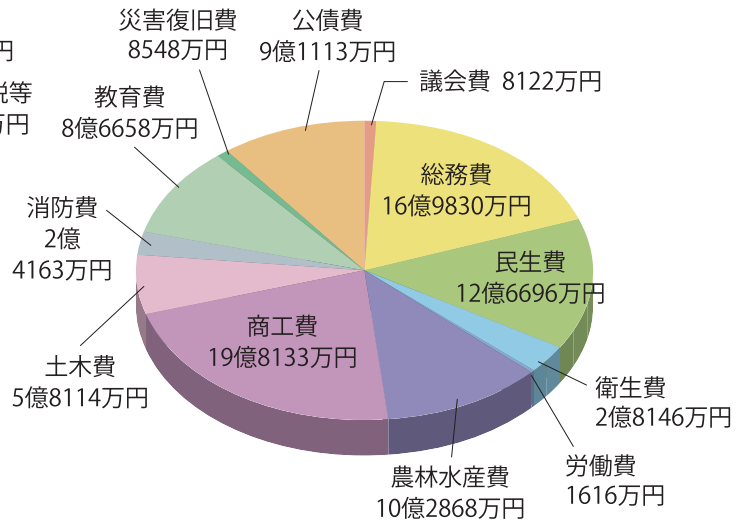
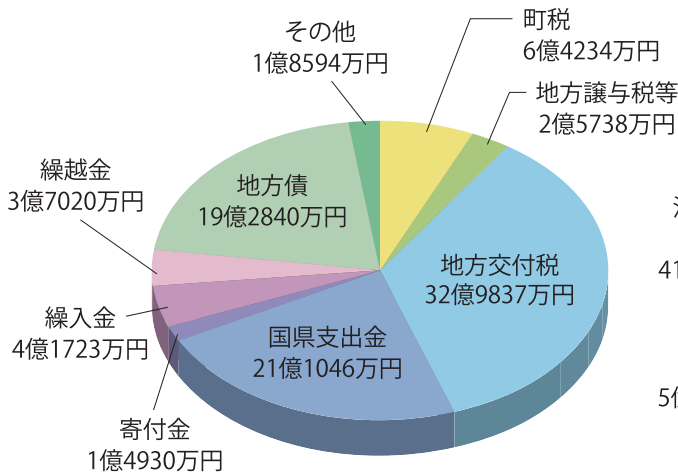
項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳 入 総 額	76億6220	67億6010	74億2088	73億6290	93億5963
歳 出 総 額	72億2268	64億2713	71億3803	69億4770	90億4008
基金積立金	269	158	126	24	4
基金取り崩し額	2億1000	3億	3億4000	4億7800	1億3100

令和2年度 一般会計及び各

一般会計決算

歳入 93億5962万円

歳出 90億4007万円



各特別会計決算 (単位 万円)

会計	歳入	歳出	
国民健康保険	事業勘定	7億4878	7億3730
	直診勘定	9397	9381
介護保険	9億9922	9億8962	
後期高齢者医療	8856	8753	
下水道事業	3億9486	3億9451	
訪問看護	1801	1789	
介護老人保健施設	2億9787	2億9772	
5財産区	1087	1012	
水道事業	収益的	2億3182	1億8549
	資本的	1億6743	2億4592

各基金残高 (単位 万円)

基金の名称	令和2年度末残高
財政調整基金	4億5712
減債基金	1億7234
地域福祉基金	8843
公共施設調整基金	3億8168
地域振興基金	4806
いいでめざみの里応援寄付基金	6035
中小企業緊急災害等対策利子補給基金	2500
スポーツ振興基金	3740
交通遺児等支援基金	501
国民健康保険給付基金	1億0393
介護保険介護給付準備基金	1億3271
畜産振興基金	5525
森林環境譲与税基金	1063
奨学資金貸与基金	6446
土地開発基金	1億7161
財産区基金 (4財産区)	1億3149
総合計	19億4547



新型コロナウイルス感染症対策及び 町道南館深淵線ほか道路改良工事 関連予算を可決

臨時会 (令和3年8月5日開議)

概要

8月5日、現在の議会構成になってから丸2年が経過し、議会の申し合わせにより臨時会が開催され、総務文教、産業厚生、広報広聴の各常任委員会委員並びに議会運営委員会委員が新たに選出され、合わせて置賜広域行政事務組合等の一部事務組合議会議員が選出されました。(議会だより8ページ)

また、町から提出された飯豊町手数料条例の一部を改正する条例の制定について、令和3年度飯豊町一般会計補正予算(第4号)及び工事請負契約の締結(令和3年度社会資本整備総合交付金事業町道南館深淵線ほか道路改良工事)についての3議案を審査し、全会一致で可決されました。

条例の改正

飯豊町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

これまで個人を識別するための個人番号通知カード及びマイナンバーカードの再発行については、町が行ってききましたが、今後は「**※**地方公共団体システム機構」が事務を行う事になったため、再発行手数料の部分が条例から削除されました。

※令和3年9月1日のデジタル庁の設置に伴い、国と地方公共団体が協同して運営する法人。

補正予算

歳入歳出それぞれ7395万円を追加し、総額71億5076万円となり、主な補正内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

○地方交付税

838万円

○新型コロナウイルスワクチン接種対策費(国負担金)

141万円

○過疎地域持続的発展支援交付金・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(国補助金)

4684万円

○農業水路等事業(県補助金)

1732万円

〔歳出〕

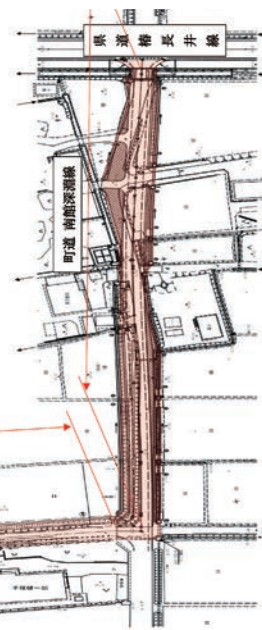
◇過疎地域持続的発展事業 2050万円

◇新型コロナウイルスワクチン感染症対策事業 2831万円

◇農業水路等長寿命化・防災減災事業 2300万円

◇強い農業・担い手づくり総合支援事業 214万円

道路工事平面図・ 道路工事箇所起点及び終点現況写真



町道 南館深淵線
工事起点



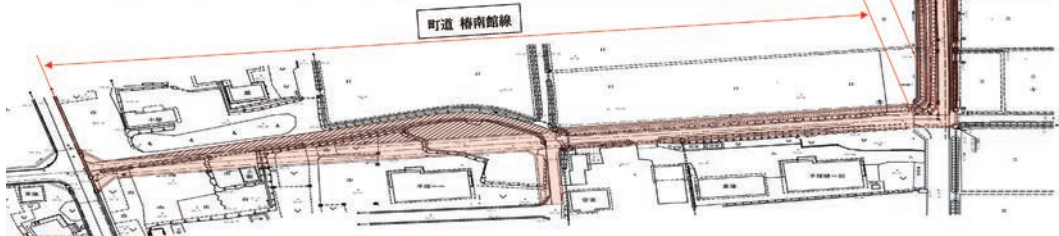
工事終点



町道 樺南館線
工事起点



工事終点



公開します！議員の賛否！

令和3年度9月定例会で審議した主な議案とその結果

上程された議案・概要	賛成	反対
規則の一部改正・決議提出		
飯豊町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	8	0
飯豊町議会「飯豊電池バレー構想」に関する特別委員会の設置に関する決議提出について	8	0
予 算		
令和3年度飯豊町一般会計補正予算（第5号）	8	0
町道路線の認定について	8	0
令和3年度飯豊町一般会計補正予算（第6号）	8	0
令和3年度飯豊町介護老人保健施設特別会計予算（第3号）	8	0
決 算 認 定		
令和2年度飯豊町一般会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町国民健康保険特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町後期高齢者医療特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町介護保険特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町訪問看護特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町介護老人保健施設特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町下水道事業特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町萩生財産区特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町豊原財産区特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町添川財産区特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町豊川財産区特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町中津川財産区特別会計決算認定について	8	0
令和2年度飯豊町水道事業会計決算認定について	8	0
令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	8	0
人 事		
飯豊町教育委員会委員の選任について・飯豊町大字椿 前司 恵氏	8	0
人権擁護委員の候補者の推薦について・飯豊町大字椿 井上 慶次氏	8	0
意 見 書		
「国連で採択された核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書」の提出について	8	0
「米の需給調整に関する意見書」の提出について	8	0
「豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する意見書」の提出について	8	0
「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」の提出について	8	0

※採決は議長を除く

新たな議会体制に

議会申し合わせ事項等により任期2年となっている議会の役職等については、8月5日の臨時会において正副議長選挙が行われ、体制が新たになりました。また各常任委員会についても委員の変更がありましたのでお知らせします。

●議長

菅野富士雄（再）

●副議長

古山 繁己（新）

●議会選出監査委員

遠藤 芳昭（継続）

●議会運営委員会

委員長 後藤恵一郎

副委員長 古山 繁己

委員 川崎祐次郎

委員 高橋 勝

●総務文教常任委員会

委員長 高橋 勝

副委員長 後藤恵一郎

委員 菅野富士雄

委員 高橋 亨一

委員 古山 繁己

委員 遠藤 芳昭

●産業厚生常任委員会

委員長 川崎祐次郎

副委員長 屋嶋 雅一

委員 菅野富士雄

委員 高橋 亨一

委員 古山 繁己

委員 舟山 政男

●広報公聴常任委員会

委員長 舟山 政男

副委員長 遠藤 芳昭

委員 後藤恵一郎

委員 川崎祐次郎

委員 屋嶋 雅一

委員 高橋 勝

一部事務組合議会

●置賜広域行政事務組合

菅野富士雄

（議長・第一委員会）

後藤恵一郎（議会運営委員・第二委員会）

古山 繁己

（第二委員会）

●西置賜行政組合

遠藤 芳昭

（議会運営委員）

舟山 政男

屋嶋 雅一

●置賜広域病院企業団

菅野富士雄

（代表世話人）

高橋 亨一（病院運営特別副委員長）

川崎祐次郎

（議会運営委員長）

報告

飯豊町議会「飯豊電池バレー構想」に関する特別委員会を設置

町が山形大学・山形銀行とともに進めている「飯豊電池バレー構想」に対する特別委員会を設置しました。

これまですすめてきた同構想については、建設している3施設の使用状況や今後の見通しについて、町民からも様々な意見をいただいております。議会としてその内容を調査検証することとなりました。

特別委員会の内容

【設置の根拠】

地方自治法第109条及び飯豊町議会委員会条例第5条

ともに、今後の取り組み状況を確認し、町民に対する説明責任を果たすこととします。

【委員】（議長除く8名）

委員長 古山繁己

副委員長 高橋 勝

【設置の目的】

飯豊町・山形大学・山形銀行の三者による連携のもと、平成25年度に飯豊電池バレー構想が始動しました。

【背景】

8月12、17日の産業厚生常任委員会において、山大や貸工場進出予定のセパレーターデザイン、専門職大学設置を目指す赤門学

院への聞き取り調査の結果、特別委員会において調査検証する必要があると判断されたものです。

このため、議会では、経過を調査検証すると



来年4月始動する貸工場



山形大学研究センター（左）と専門職大学（右）



氏名	質問事項	質問時間	ページ
1. 議席番号4番 遠藤 芳昭 議員	老朽施設を負の財産としない 町長 5つの建物は解体する計画である	60分	10
2. 議席番号5番 高橋 勝 議員	地域の課題解決はだれが担う 安心して幸せに暮らすためには 町長 地区まちづくりセンターを中心に連携した取り組みが必要	60分	11
3. 議席番号2番 屋嶋 雅一 議員	伝統文化を生かしたまちづくり 町長 伝統文化を生かした地域住民と行政との協働による取り組みが必要	60分	12
4. 議席番号3番 舟山 政男 議員	町庁舎にエレベーターの設置と コロナ収束後の町観光事業は 町長 エレベーターの設置は大規模改修が必要となり、設置は困難	60分	13

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。
また、質問及び答弁は、要約しています。



傍聴においでください

次回の定例会は12月8日からです。お気軽にどうぞ。

電話 0238(87)0527 議会事務局

一般質問

老朽施設を負の財産としない

町長：5つの建物は解体する計画である



老朽化し使用していない農村環境改善センター（手ノ子）



遠藤 芳昭 議員

老朽化した施設は

質問 維持できない町の施設は将来の負担となる。どのように対応していくのか。

計画に沿って対応する

町長 「飯豊町公共施設等総合管理計画」に基づいて対応していきます

負の財産とならないように

質問 取り壊し予定の5つの施設の維持管理位置付けています。

町長 「飯豊町公共施設等総合管理計画」に基づいて対応していきます

費と、取り壊しの予定は。

財源の確保が課題

町長 現在この5施設は年間3百万円の維持管理費がかかっています。解体するにも財源を確保する必要があります。10年以内としか定まっています。

閉校の校舎の利用は

質問 現在「飯豊町小学校再編に係る専門家会議」が開催されているが、学区再編・統廃合による空き校舎活用への検討はされるのか。

専門家会議でも検討

教育長 閉校中の学校の活用も課題であり、専門家会議においても話題として取り上げ、検討いただくようにしていきます。

置賜天狗山における登山客受け入れ整備を

質問 天狗山はやまがた百名山に認定されたから訪問客も多くなつた。誘客受け入れのためには道路整備が必要ではないか。

道路整備は必要

町長 天狗山は新たな観光として有望であり地元と一緒にすすめていきます。道路整備についても必要と考えています。

天狗山の本の再版やパンフレットを

質問 「天狗山の話」という本があるが、教育委員会が再版できないか。また山の歴史や史跡、自然の動植物を紹介するパンフレットが必要であると思われるが。



著書やパンフレットは検討していきたい

教育長 著書「天狗山の話」については検討してみます。
町長 歴史や文化にふれる観光も大切であり今後観光面からパンフレットを作成していきたいと思えます。

天狗山の象徴大鳥居



(本人執筆)

地域の課題解決は誰が担う。 安心して幸せに暮らすためには 町長：地区まちづくりセンターを中心に連携した取り組みが必要



高橋 勝議員

美味しいBOXは食を通じた繋がりを形成

質問 町内で生産される食材・加工品を町外・県外に箱詰めにして発送する「美味しいBOX」。

予想される経済効果として、町内事業者（食産業分野）の所得向上、6次産業の活性化が挙げられる。アフターコロナを見据えた「飯豊の食」を通じた繋がり（交流）の形成は、今こそ必要と感

じるが。

民間事業者に働きかけながら支援策を検討

町長 これを商品として販売することは、本町農産物や加工品の消費拡大や農家所得向上

にもつながることから関係者など民間の活力に期待をしています。今後は、町の支援事業の活用を含め民間事業者に働きかけを行い町としての支援を検討していきます。

地域の課題解決は誰が担う。解決に向けた方策は

質問 ①現在の地域課題を誰がどのように対処するのか。対応可能な組織や条例が町にはあるのか？

②第5次総合計画には「地域づくりの推進」は、「まちづくりセンターを中心に」と明記されているが、新たな条例の制定が必要ではないか。

まちづくりセンターを中心とした取り組みが必要

町長 ①地域課題について、地区まちづくりセンターを中心に地域間で連携した取り組みが必要と考えます。また本町では、地域課題への対応やまちづくり

において誰がどのような役割を担い、どのような手法で進めていくのかを定めた「自治基本条例」を定めています。2030年までに制定し運用を開始することとしています。

②現状では、「地区公民館」と「地区まちづくりセンター」を規定した条例がそれぞれあることから、生涯学習や社会教育に加え、地域づくり活動を総合的に支援する施設として一本化した条例が必要との認識で現在検討中

地域の課題解決はICT（情報通信技術）で

質問 地域課題のひとつに「イノシシによる鳥獣被害」がある。被害は主に農業分野であるが、最近観光地での被害が発生している。

また現在は、猟友会・檻・ワナでの駆除、電気柵での対策が主なもの

です。併せて、組織体制・運営方法についても今後検討していきます。



観光地（水芭蕉群生地）までも電気柵

導入費・維持費など課題多い

町長 現在は、捕獲方法の研修や電気柵設置、猟友会増員への補助金新設など、対策予算を増額して対応しています。

ICTを活用した対策については、機器の初期導入費用や維持経費人材育成など課題もあることから、費用対効果を十分に検証する必要があります。

（本人執筆）

一般質問

伝統文化を活かしたまちづくり

町長：伝統文化を活かした地域住民と行政との協働による取り組みが必要



屋嶋雅一 議員

伝統文化を守るための住民との連携は

質問 伝統文化は、町や私たちにとって大切に守り継承しなければならぬ貴重な宝だ。そのために住民とどのように連携を図っていくのか。

保全や活用の課題を住民と意見交換

町長 これまでも地域住民と行政が連携して保全と活用に取り組んできましたが、今後地域の方から伝統文化の歴史的背景を伺いながら、どのように保全、活用していくかを共に考え、価値を広く周知し風化することのないように連携を図

歴史文化を映像化し保存とPRに活用

質問 伝統文化での関係人口を増やすためには、町内外へ飯豊町の伝統文化の良さを幅広くPRし、興味を持ってもらうために、物語風にした映像化が必要と思うが。



文化財の修復の様子

映像化も有効な手段

町長 本町では、指定文化財だけでなく、本町の歴史文化を物語るものを飯豊遺産とし、新たに物語の一端をなすものを見出しながら取り組んでいます。その中で映像化にすることも有効な手段と思いますが、どれだけコストをかけられるかが問題になります。今後も知見をお持ちの方や地域住民の方からアドバイスを頂き、次世代に繋げていく取り組みにしていきたいと思えます。

歴史文化的資料の収蔵庫の整備が必要

質問 現在、歴史文化的資料などは、町内の施設に点在し保管されている。収蔵庫と歴史資料館整備の考えは。

収蔵庫や資料館の整備は必要

町長 ご指摘いただきましたとおり、町内複数の場所に保管している状態です。寄贈の申し出をいただいても現在受け入れられない状況でもあります。一ヶ所にまとめた収蔵庫や歴史資料館の整備が望ましいと考えています。既存遊休施設の改修や古民家の活用など、いずれにしても大きな財政支出を伴う事業となり、現段階では検討に至っておりません。

伝統的な行事や工芸を伝承する担い手不足の解消は

質問 現在、伝統的な行事や工芸を伝承していく担い手不足や文化財などの管理、整備をする人手不足が問題だ

子供たちが歴史、伝統文化の体験交流

が、対応策は。
教育長 自分たちが生まれ育った町の歴史や伝統文化を学び、体験や交流を通じながら興味や関心を抱き、ゆくゆくは、担い手や人材として活躍してもらえるように、郷土愛の醸成に繋げる教育を指します。

町内の伝統文化の映像を総合学習で

質問 町内の伝統文化映像をオンライン授業とできないか。

タブレットによる交流学習

教育長 子供たちの行動範囲が限定されるため、タブレットを使用した映像による各文化交流学習を検討します。
(本人執筆)

一般質問

町庁舎にエレベーターの設置と コロナ収束後の町観光事業は 町長：エレベーターの設置は大規模改修が必要



舟山政男 議員

町庁舎にエレベーター設置は

質問 高齢化が進む現在、町庁舎利用がますます大変になっていく。また、車椅子で来庁された方の利用は相当不便をしている。この対応については。

エレベーターなどのハード整備は厳しい状況

町長 庁舎は昭和54年8月に竣工し、今年で42年が経過しました。平成13年度にエレベーター設置を検討するための調査事業を実施していますが、検討の結果、設置までには至らなかった。現在、設置

するには、庁舎の耐震化工事などの大規模改修が必要となることから、現状では、エレベーター設置は困難と考えています。

現在の対応は

質問 来庁者の方に対しての対応は。

呼鈴等にて対応

町長 車いすの方の現在の対応は、正面玄関の階段前に設置している呼び鈴を押していたことで、職員が外に出向き車の中で手続きをさせていただいております。階段昇降の介助する対応もとっています。また車利用が困難な

場合は、健康福祉課や中津川公民館で住民票、印鑑証明書等の交付を受けられます。

5センターの充実

質問 町の出先機関であるまちづくりセンターの環境整備をして、リモート活用による住民サービスについては。

慎重を期す

町長 国、県と異なり基礎的自治体は、現場主義が第一と言われております。住民と直接接



庁舎正面玄関前の呼び鈴

することが大事で、バーチャルな対応は慎重を期すべきと考えます。

コロナ収束後 町観光事業は

質問 旅行、観光事業が真つ先に動くと考えられるが、町としての対応は。

官民で備えたい

町長 現時点で、コロナ収束は見通せませんがワクチン接種が進んでいます。アルカディア観光局等と協議を重



手ノ子地区に伝わるお年越し料理 (手ノ子区協議会、さんさん部会女性部みなさんによる再現)

ねながら興味を持ってもらえる商品の開発を考えています。

観光基盤の整備は

質問 町内の様々な取り組みや、先人の築いた文化を観光基盤とすることについては。

生かすべきと考える

町長 農村の様々な文化を掘り起こし、新様式での文化継承を町づくりにかしていきま

今後の対応を問う

総務文教 所管分



決算特別委員長

古山 繁 巳

令和2年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計の13件について、**※決算特別委員会**を設置し審査しました。
決算特別委員長に古山繁巳委員を、副委員長に高橋亨一委員を選出し、9月15日・16日の2日間にわたり慎重な審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

一 般 会 計

基金の大幅減少の要因と今後の対応は

川崎委員 地方債残高が104億円に達し、自主財源が乏しいなか

で、財政運営は本当に大丈夫か。あわせて財政調整基金が大幅減で28年度比1/3になっている。

町長 財政調整基金は最大20億円の積立があ

りました。平成25年の監査意見書には、「地域活性化・住民のために有効に活用するように」と指導され、今日に至っています。

総務課長 償還金が今

後の財政運営を厳しくすることは事実であります。今後はできるだけ借金をせずに、運営するように心がけます。ただし借金もしなければ

迎えた地域づくり推進事業をどのように評価しているのか。

地域づくり推進事業の5年間の成果は

舟山委員 最終年度を

地区に最大400万円の補助です。各地区で

執行率に差があるものの計画的な事業の実施が行われています。事業の評価は、4次総合計画の地区別計画を実施されています。



※決算特別委員会とは
9月定例会で上程された決算議案について、その認定審査のために設置される委員会のこと。決算の審査は、当該年度の予算の議決に基づく財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的・合理的に行われたか否かの適否を審査するものです。



地域づくり推進事業の積極的活用を

決算特別委員会

基金減少が続くが

義務的経費の削減について今後の取組みは

屋嶋委員 決算審査意見書には、「**※義務的経費の削減**」と昨年に引き続き指摘されている。今後どのように取り組むのか。

※義務的経費とは…

国または地方自治体の一般歳出のうち、支出することが制度的に義務づけられている経費のこと。

人件費、扶助費および公債費の3つからなる。

町長 増加要因として会計年度任用職員の採用増加・町直営の保育施設の保持・コロナ対策事務の増加などが挙げられます。今後はデジタル化などを活用し事務効率を上げられるようにしていきます。

総務課長

会計年度任用職員分が物件費から人件費に移行したことと、公債費の償還増加が主な要因です。今後は行革大綱を実践に移し、経費の節減に努めていきます。

利用者の声を拾う仕組みは

高橋(勝)委員 デマンド交通の利用者数が毎年減少。利用者の声を拾う仕組みがあるのか。

住民課長

「ほほえみカー運行委員会」を設置しており、年2回の開催を行っています。利用者の方にも委員になっていただき、生の声が反映される仕組みとなっています。昨年度の利用者数は、コロナの影響で利用を控えたものと分析しています。

LED化の工事内容は

高橋(亨)委員 LED化の工事請負費について、工事の

て、工事の中身は。

住民課長 工事箇所は17か所であり、内訳は新設が15カ所、移設が1カ所、撤去が1カ所となっています。

財政調整基金の積立額は

後藤委員 町の標準財政規模40億円であれば10%の4億円の積み立てとなるが、現状の歳入歳出は90億円となつ

ている。どちらの数字を基準として財政調整基金を積立てる予定か。

総務課長 標準財政規模40億円の10%の積立と考えて、財政運営を行っています。

代表監査委員 財政調整基金は、これまで積極的活用と進言を行ってききましたが、積立てにまわす我慢の時期を迎えたと捉えています。

特別会計

特別会計の見直しは

後藤委員 現在11会計ある特別会計だが、一般会計に移せるものはないのか。例えば訪問看護などは、健康福祉課で運営可能では。透明性を持たせるためにも、見直しが必要ではないか。

総務課長 現在において見直しの予定はありません。訪問看護では実際の金額の動きがわかるのがよいと思っています。

また一般会計での負担額がみえるように分離している現状がよいのではないかと考えています。



住民の足としてかせないほほえみカー

路の改修工事

産業厚生
所管分

一般会計

民生費負担金の未収額は

川崎委員 民生費負担金で約18万7千円の収入未済額があるが、その事業はなにか。未収となった理由は。

健康福祉課長 除雪へ

ルパー派遣事業で、未収内訳は3件で、うち2件の約3万9千円分は今年度収納となりましたが、残り1件の約14万8千円分は当事者死亡により、現在相続人と収納に向けて相談中です。

DMO構築事業負担金の効果は

屋嶋委員 観光広告宣伝事業の地域連携DMO構築事業に約651万円を負担しているが



アルカディア観光局による町のPR

町への効果は、どのくらいあったのか。

観光交流室長 アルカ

ディア観光局では、営業活動や情報発信、おみやげ品の開発等を行い、旅行商品の宣伝業務を行っています。コロナ禍の影響もあ

りませんが、町への効果としては、おおよそ67万円の売上でした。

空き家解体でなぜ設計が必要か

舟山委員 空き家対策事業の解体工事で、設計業務委託として約80万円を要しているが、なぜ設計業務が必要となったのか。

地域整備課長

家屋の腐食や茅葺き等の廃材の内訳が困難であることから、解体をする上で設計が必要となりました。

企業版ふるさと納税の用途は

高橋(亨)委員 企業版ふるさと納税で810万円の歳入内容は。

産業連携室長 飯豊電池バレー構想に充当させていただきました。

アンテナショップの販売状況は

高橋(勝)委員 商工振興費のアンテナショップ運営事業として、運

営委託費300万円を支出しているが、コロナ禍での販売状況はどうだったのか。

商工観光課長 コロナ

禍により一部時短営業はありましたが、ほぼ毎日営業をしていただきました。本町産のつや姫を使用したおにぎりや、本町で採れた野菜を使ったお惣菜など売れ行きは良好とのこと。



アンテナショップの様子

決算特別 委員会

進まぬ消雪道

消雪道路の改修状況は

後藤委員 道路維持費の中の除雪事業で、消雪道路に関する工事を令和元年度は、改修や工事費として1570万円の執行となっていたが、令和2年度では800万円の執行と、少なくなっている。消雪については要望が多

いが、適切な執行状況にあるのか。

地域整備課長

計画さ

れているノズル交換などは実施しましたが、消雪設備の改修は緊急性のあるものとなっています。現在、交付金に頼っている状況ということもあり、改修が思うように進まないのが現状です。

特別会計

下水道施設の診断結果は

屋嶋委員 下水道事業の施設管理費で、約430万円をかけ施設の機能診断業務を行って

いるが、萩生・椿・松原地区の施設は、20年以上経過している。診断結果はどうだったのか。

上下水道室長 下水道施設の機能診断の結果、耐用年数が経過したと判断しましたので、今後修繕を進めていきます。

介護老人保健施設特別会計の未収金は

川崎委員 介護老人保健施設特別会計の通所

負担の未収金が、一年前と全く変わらないのはなぜか。
健康福祉課長 入所負担金未収は3名、通所負担金未収は1名の、計4名です。理由は家族の入院、当事者の死亡などにより、進まない状況です。

水道料金の未収金は

後藤委員 監査の評価にもあるが、水道料金の未収についてどう思うか。

上下水道室長 未納の方には、再三にわたり納入のお願いと納付の相談をさせていただいています。それでも未納の場合は、最終的に水道停止となります。



改修がすすまない消雪道路（写真は萩生地区）



20年以上経過の下水道施設（萩生）

第5次総合計画初年度 教育と文化の充実策を問う

総務文教常任委員会

各課からの報告

●企画課

◆婚活事業について
「自分力UP講座、婚活イベント、カヌーで恋活・友達づくり」などを企画しています。

◆「いいで未来カフェ2021」ではワークショップを開催します。
◆地域おこし協力隊には2名の応募がありました。活動期間は本年10月1日から最長3年間を予定しています。

●住民課
◆国民健康保険税の改正について、12月定例議会において提案するよう準備をすすめています。
◆飯豊町のマイナンバーカードは3162枚交付率46%となっています。

質問と答弁

◆秋の交通安全県民運動がはじまりますが、8月末現在で長井署管内の交通事故は34件で飯豊町は7件です。

●教育総務課
◆令和4年度の乳幼児施設の学童クラブの申し込みを受け付けます。
◆さゆり保育園の外壁等の老朽化が著しく、修繕の必要が生じております。

●社会教育課
◆本年度の町芸能発表会は中止となります。
◆人口芝とした町民スポーツセンター屋内グラウンドは8月20日から仮使用をしています。

遠藤委員 スポーツセンターの利用拡大の取り組みは。この機会に要望の多い自動販売機を設置できないか。

社会教育課長 今後多くの町民に利用していただくため、広く周知いたします。
自販機については検討してまいります。



人口芝が完了した屋内グラウンド

高橋(亨)委員 学校統合に子供たちの意見を聞いたのか。

教育総務課長 学校再編統合の議論には児童生徒の考えも大切ですが、直接意見を聞くことは困難です。

古山委員 専門職大学に第一小学校体育館を貸し出す約束なのか。
教育総務課長 赤門学院から室長に対して話がありました。まだ小学校には伝えていません。

後藤委員 小中学校のオンライン授業は可能か。
教育総務課長 現在家庭と学校のオンライン授業は行っていません。ルーターは貸出が可能です。

ク十字路に信号機の設置を要望しては。
住民課長 公安委員会に信号機の設置の要望をしていますが、難しいと言われています。



信号機の設置要望が多い

高橋(勝)委員 これまでのコロナ対策事業の検証はされているのか。
総務課長 コロナ対策支援事業については現在実施中で、国からは公表することが望ましいとありますので対応していきます。

菅野委員 スワンパー

道の駅のコンビニ計画は 今後どうなるのか

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課

8月21日から28日まで
の大雨により、林道
天狗山線他4路線にお
いて、路面洗掘や路肩
欠損等の災害が発生し
ましたので、予算措置
し災害復旧を進めま
す。

その後、地区住民に説
明する予定となってい
ます。

●健康福祉課

介護老人保健施設で
現在使われている大型
スチームオーブンは、
耐用年数が7年のとこ
ろ使用年数15年の稼働
となつています。部品
もなく使い続けている
状態なので更新する予
定です。

川崎委員 道の駅のコ
ンビニは、町民の買い
物支援施設としてある
べきである。コンビニ
白紙とはなぜなのか。
商工観光課長 開店に
向けて協議を重ねまし
たが、建設費が折り合
わなかったため、今後
再検討します。

●商工観光課

山形大学×EV研究
センターの管理運営体
制見直しについて、民
間事業者の使用許可を
出す予定です。

菅野委員 ×EV飯豊
研究センターを民間事
業者に使用許可を出す
場合の契約については、
どのようになっている
のか。
商工観光課長 長期使
用契約ではなく短期間
使用許可を考えていま
す。

●地域整備課

主要地方道長井飯豊
線小白川工区について
県より今年度事業とし
て、空中写真数値化業
務、道路施設長寿命対
策事業を実施する予定
で一部は既に発注済み
と聞いています。



更新するスチーム
オーブン

質問と答弁

屋嶋委員 児童発達支
援施設について、建設
はできれば町内業者が
行うべきと考えるが。

が農業体験者をされま
した。

●健康福祉課長

町内の
業者が設計、監理、建
設を行うと聞いていま
す。

高橋(亨)委員 コロナ
ワクチンを65歳以上90
%受けているが、未接
種の方については。
健康福祉課長 希望し
ない方を除き接種勧奨
文を出しています。

●菅野委員

×EV飯豊
研究センターを民間事
業者に使用許可を出す
場合の契約については、
どのようになっている
のか。

古山委員 貸工場の開
業が遅れている理由が
工場内の虫対策という
ことだが、町の責任で
はないのではないか。
商工観光課長 セパレ
ータデザイン株式会社
からフィルターが付い
ていないという指摘が
ありますので、調査が
必要となっています。

●舟山委員

農林業への
新規就農状況は。
農地管理室長 平成29
年2名、同30年0名、
令和元年1名、令和2
年0名でしたが、6名

町の調査データを示し、
会社側も調査をするこ
ととしています。



コンビニ建設が
計画されていた道の駅

飯豊町議会との「意見交換会」 さまざまなテーマを受け付けています

飯豊町議会では、町内の各団体やグループと、現在または今後のまちづくりの課題について意見交換の場を持ちたいと考えています。意見交換を通して、議会活動への反映、政策提言、町への要望などを目的としています。

対象団体 町内に所在する団体やグループ。参加人数は概ね10名程度（商工農林団体、地区、自治会、サークル、仲間等他）

交換会の内容 あらかじめ提出いただいたテーマに基づいて行います。

その他 開催日時や場所テーマ等は、団体の代表と協議させていただきます。
原則として全議員が出席します。

担当 飯豊町議会広報公聴常任委員会



お問い合わせ 飯豊町議会事務局

TEL **0238-87-0527** FAX **0238-72-2430**

主要地方道米沢飯豊線中津川橋 における橋梁補修工事の地元説明 会書面開催について

山形県置賜総合支庁建設部
西置賜道路計画課長

来年4月から
本格的な本ケ
ブル設置工事
（夜間通行止め
を予定）を進め
ることとしてお
ります。



定例会を 傍聴してみませんか

次回の定例会開催は
12月です。

インターネットでも
見ることが出来ます。

お問い合わせは議会事務局へ



編集後記

一年の努力が報いられる収穫の秋となりました。さる8月6日より任期後半となりました。

新たな体制で当委員会をスタートして読みやすいより良い広報に努めてまいります。

舟山政男記



発行責任者
議長 菅野富士雄

発行 広報公聴常任委員会

委員長 舟山 政男

副委員長 遠藤 芳昭

委員 後藤 恵一郎

川崎 祐次郎

屋嶋 雅一

高橋 勝